

#### <単元名>

### これからの工業生産とわたしたち

#### ねらい

日本の工業生産の課題を解決するために必要なものについて交流することを通して、課題解決のためには、工場生産に充実する人々の努力が必要であることに気付く。さらに、日本の課題について考えることを通して、新しい技術や仕組みを発展させていくことが不可欠であることについて考え、表現することができる。

#### 主なICTの活用方法

- ・ 前時及び家庭で「日本の工業生産の課題を解決するために必要なこと」というテーマで既習内容を基に作成したプレゼンを使って仲間に説明する。
- ・ 提出した仲間の考えを共有する。

#### ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 自分が選んだ課題の解決に向け、既習内容を基に根拠を明確にして説明することができる。
- ・ 教師に提出した仲間の考えを共有することで、比較、整理しながら自分の考えを見つめ直し、考えを深めることができる。

#### 実践の概要

本単元では、我が国が抱える工業生産の今日的課題を捉え、それらを解決するために尽力する人々の営みや工業生産の未来について考え、表現していく。前時は、本単元のみならずこれまでの学習を基に、我が国が抱える工業生産に関わる課題を一人一人が選択し、それを解決するために様々な取組をしている事例や解決に向けて有効な情報を収集し、論理立てて説明できるようにプレゼンにまとめている。

本時は、それらを基に仲間と交流し、自分の考えと比較・関連付けたり、整理・吟味したりして自分の考えを見つめ直し、考えを深めていく。今日的課題ごとに背景の色を変えてあるため、児童は自分の考えを伝えたい相手を、そして、考えを聞きたい相手を自ら選び、交流していく。自他の説明の共通点や関連する点を見いだすことで、我が国の工業生産の未来について多角的に考え、これらの課題を自分のこととして捉えようとする意識を高めることができるようにする。

#### 児童の学びの様子

○我が国が抱える工業生産の今日的課題を「働き手の不足」「資源・エネルギーの不足」「技術継承者の不足」「安価な外国製品の広がり」とし、それらの解決に向けて、これまでの学習を基にして、根拠を明らかにして論理立てて表現することができた。

○自分とは異なる課題を選択してまとめている仲間に積極的に声をかけ、学び合うことができた。その交流の中で、自分の考えや使用した資料との共通点や相違点、関連する点を気付き、我が国が抱える課題を自分のこととして捉え、考えを深めようとする姿が見られた。



#### 指導のポイント

- 考えを整理し表現する場面においても、互いの考えを交流する場面においても、自分たちが考える視点を明確にし、共有していくことは非常に重要な手立てであると言える。
- 根拠を明確にし、多角的に追究することができる学習活動を設定することは、公正な判断をする力を高める面において効果的である。